

「全鍍連」 2017年 2月号 理事長のよこがお

岐阜県メッキ工業組合 理事長 石垣 彰寛 (株丸石工業所 代表取締役)

「岐阜県を県名から探ってみました」



岐阜県メッキ工業組合理事長の石垣でございます。理事長と言う重責を仰せつかって6年目になりました。今回良い機会を頂きましたので、皆様に余り知られていない岐阜県をPRしてみようと思います。

先日、東海北陸ブロック会議に向かう車中での会話、東海6県の中で意味の解り難い県名（馴染みのない阜と言う文字が使われている）は岐阜県ですね、と言う話が出ました。そう言われてみると愛知、三重、富山、石川、福井とも普通に読解できる漢字が使用されています。これを機会に詳しく調べてみると面白い事に、岐阜の「阜」という文字は、漢和辞典で調べると部首表に8画の部首として掲載されており、部首の読み方を「ぎふのふ」となっています。

また、県名の由来については諸説あるようですが、岐阜の県名は織田信長が命名しており、「岐」を古代中国に周の文王が「岐山」から天下統一をおさめたこと、「阜」は学問の祖である孔子が生まれた「曲阜」と言う地名から来ているようです。このように47都道府県のうち中国から由来しているのは岐阜県のみだそうです。

岐阜県岐阜市は、斉藤道三の「稲葉山城」と呼ばれていた城を織田信長が「岐阜城」と改め、江戸時代には幕府の直轄地のちに尾張藩領となり岐阜奉行所が置かれ、岐阜四十四町からなる商工業の中心地として栄えました。そして南部の旧加納町が中山道加納宿の宿場町、加納藩の城下町も含めた現在の岐阜市が起点となり、広く美濃、飛騨を含めた地域を1876年に岐阜県と命名され現在に至りました。

東海北陸道一宮ジャンクションから北へ向かう途中木曾川に掛かる橋の上から見る山々は、左から養老山脈、伊吹山、金華山、乗鞍岳、御嶽山、北アルプス、恵那山と180°岐阜と隣接した県の県境に聳え立つ山々が一望できます。その雄大な山の麓には、奥美濃と飛騨と言う素晴らしい観光地があります。奥美濃地方には盆踊りで有名な「郡上八幡」、夏の避暑地、冬のスキー場で賑わう「ひるがの高原」があります。また、飛騨地方には世界遺産の白川郷合掌造り、「ミシュラン・グリーンガイド・ジャポン」の三つ星に認定された飛騨高山、新穂高温泉、平湯温泉を代表とする「奥飛騨温泉郷」、日本三名泉と称される下呂温泉など、日本のみならず世界的にも有名な観光地を有しています。そして昨今の日本ブームなどにより、奥美濃、飛騨地方への日本人や世界各国からの観光客が訪れることが多くなっています。皆さんも、春夏秋冬さまざまな表情を見せてくれる奥美濃、奥飛騨で、暖かい人情と暖かい温泉でも味わってみられたら如何でしょうか。

その山岳地帯の南に位置する濃尾平野は、この山々からの水を集めて流れる「木曾川」「長良川」「揖斐川」が運んだ

肥沃な土壌での農業や豊富な水を利用した工業が発達しました。岐阜市の繊維産業、大垣市の自動車関連、電子産業、関の刃物、各務原の航空産業、東濃地方の陶磁器産業などが有名な所でしょうか。日本の中では人口 17 位、工業生産 20 位、農業生産 27 位とほぼ中間の位置にある岐阜県ですが、昨今ではアニメ映画で有名になった飛騨市古川町、ネットの SNS で話題になり多くの観光客が押し寄せている「名も無き池」別名(モネの池)等、注目を集めている所もあります、また、中部、北陸、信越、運輸局が進める「昇龍道」ドラゴンルート上に岐阜の観光地が含まれ多くのインバウンド観光客を呼び込んでいます。

今後は更に岐阜の良い所を生かしながら、素晴らしい観光資源を大切に岐阜県の工業、農業、観光産業が益々発展して行く事を願っております。

(株式会社丸石工業所 代表取締役)